

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1053））

2. 日時：平成30年6月19日 15時40分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 13階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

秋本安全審査官、角谷安全審査官、関根技術研究調査官

（技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門）

堀田統括技術研究調査官

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

鈴木技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 技術・安全グループマネージャー（他4名）

5. 要旨

（1）日本原子力発電株式会社から、本日の提出資料を用いて、MCCI対策の施工によるペDESTAL構造健全性評価への影響について説明があった。

（2）原子力規制庁から、主に以下の点について指摘を行った。

○ 米国コンクリート学会規格のせん断強度設計式を用いているが、この規格の国内での適用例を示すとともに今回の評価への適用性を整理して提示すること。

○ 詳細設計が進んだ段階で工認側で説明することを考えていたとのことだが、許可段階で何を説明し、工認段階で何を説明するのか整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

・MCCI対策の施工によるペDESTAL構造健全性評価への影響について